

病防第16号の7
平成28年10月27日

各 { 関係機関の長
市町村長（農務関係課）
農業協同組合長
農業共済組合長
病虫害防除員 } 様

岐阜県病虫害防除所長

病虫害発生予察情報（地区情報）の送付について

別紙のとおり予想されますので、指導上の参考にしてください。

記

病虫害発生予察情報（美濃地域） 11月予報

所 属	岐阜県病虫害防除所 企画情報係		
係 長	石 川	担 当	杉 原
TEL	058-239-3161（直通）		
FAX	058-234-0767		

平成28年度 病虫害発生予察情報(美濃地域:施設野菜) 11月予報

【 トマト 】 コナジラミ類

施設内で、タバココナジラミが媒介するトマト黄化葉巻病の発生が認められます。今後は気温の低下とともにコナジラミ類の施設への侵入が増加すると考えられるため、防虫ネット等の隙間や破れを補修し、侵入防止対策を徹底するとともに、発病株は伝染源となるため早期に除去し、薬剤による防除を徹底してください。

【 イチゴ 】 ハダニ類

天敵を導入する場合は、古葉を除去し、薬剤を葉裏までしっかり散布し、ハダニ類の密度を低減させてから使用してください。施設内でも発生量にばらつきがみられるため、よく観察し、部分的な発生に注意してください。

○主な病虫害の発生状況及び今後の予測 (11月)

作物	病虫害名	11月(予測)	発生状況及び今後の予測	10月(発生)	防除上の注意事項
イチゴ	うどんこ病	やや少	調査ほ場で発病は認められない。今後、気温の低下とともに菌の生育適温(17~20℃)となるため、発生が予測される。	少	<ul style="list-style-type: none"> ・うどんこ病 発生初期の防除を徹底する。 ・ハダニ類 薬剤は葉裏までしっかり散布し、天敵を導入する前にハダニ類の密度を下げる。
	ハダニ類	やや多	調査ほ場で発生が認められる。今後、気温は高いと予報され、増加が予測される。	並	
	ハスモンヨトウ	やや多	調査ほ場で幼虫の寄生が認められる。今後、気温は高いと予報され、引き続き発生が予測される。	やや多	
トマト	灰色かび病	少	調査ほ場で発病は認められない。今後、降水量は平年並みと予報され、発生が予測される。	少	<ul style="list-style-type: none"> ・曇天が続く場合は、疫病などの発生に注意し、予防防除を行う。
	コナジラミ類	やや多	施設内の粘着板への誘殺数が認められる。今後、気温は高いと予報され、遅くまで施設内への飛込みが予測される。	並	
キュウリ	褐斑病	少	調査ほ場で発病が認められる。耐病性品種では今後も発生は少ないと予測されるが、罹病性品種では発生に注意する。	少	<ul style="list-style-type: none"> ・褐斑病 罹病性品種では発病が認められたら発病葉を除去し、防除する。 ・べと病 過湿時には循環扇などを利用し、通風を良くする。 ・アザミウマ類(ミナミキイロ) わずかでも発生が見られれば防除を実施する。
	うどんこ病	多	調査ほ場で発病が認められる。今後、気温の低下とともに菌の生育適温(17~20℃)となるため、増加が予測される。	多	
	べと病	少	調査ほ場で発病が認められる。今後、降水量は平年並みと予報され、引き続き発生すると予測される。	少	
	アザミウマ類	やや多	調査ほ場で発生が認められる。今後、気温は高いと予報され、増加が予測される。	並	

注1) 美濃地域は岐阜、西濃、中濃および東濃地域

注2) 調査品種: イチゴ(濃姫・美濃娘)、トマト(CF桃太郎J:葉かび病耐病性)、キュウリ(カレラ:褐斑病耐病性)

トマト 疫病

本病は葉、茎、果実とすべての部位で発病します。発生は下位葉からみられ、上位葉へと進展します。葉の症状は、発病部位と健全部の境界がはっきりせず、灰緑色水浸状の病斑となり、茎では暗褐色水浸状の病斑をつくり、やがて褐変します。これらの病斑上には白色霜状のカビがつけられます。

本病の発生適温は約20℃、多湿の条件で発生が助長されます。今後の気温は高いと予報されており、今後も施設内の湿度が高まれば発生すると考えられます。曇天が続くと予想される場合は薬剤による予防防除を行きましょう。また、発生を確認したら発病部位は取り除き、ほ場外に持ち出して処分してください。



トマト疫病(葉)

数値データ

(調査10月:岐阜西濃地域)

イチゴ			
うどんこ病	(発生株率)	0	(0.0)
ハダニ類	(寄生株率)	10.7	(11.7)
ハスモンヨトウ	(誘殺頭数)	1633	(1270.3)
トマト			
灰色かび病	(発病果率)	0	(0.0)
コナジラミ類	(誘殺頭数)	3422.6	(3528.2)
キュウリ			
褐斑病	(発病葉率)	0.8	(1.6)
うどんこ病	(発病葉率)	7.5	(4.7)
べと病	(発病葉率)	1.2	(4.2)
アザミウマ類	(寄生頭数/葉)	0.15	(0.15)

注1) イチゴ、トマトは3ほ場、キュウリは2ほ場の調査

注2) ()内数値は平年値、株率、葉率、果率は%、頭数は頭

注3) イチゴのハスモンヨトウは本県市のフェロモントラップへの一ヶ月間累積頭数

注4) トマトのコナジラミ類は施設外に設置した黄色粘着板への一ヶ月間累積頭数

=施設栽培の病虫害の防除について=

施設栽培では、作型や栽培環境などにより施設ごとに病虫害の発生状況が異なります。施設内をよく観察し、病虫害の発生状況に応じた防除を実施してください。

東海地方1カ月予報(名古屋地方気象台 10月20日)

向こう1カ月の気温は高く、降水量は平年並み~少ない、日照時間は平年並みの予想です。平年と同様に晴れの日が多い見込みです。

岐阜県病虫害防除所では、この他に病虫害の詳細な調査データをホームページにて公開しています。

<http://www.pref.gifu.lg.jp/sangyo/nogyo/gifu-clean/24321/>

〒501-1152 岐阜市又丸729-1 TEL (058) 239-3161 FAX (058) 234-0767